

平成30年度第2回市政モニターアンケート 富士市における住まいに関する意識調査

● 市政モニターの数 100人(男性38人、女性62人) 回答者数 98人(回答率98.0%)
 ※各回答は、小数点以下第2位で四捨五入してあるため、合計が100%にならない場合があります。

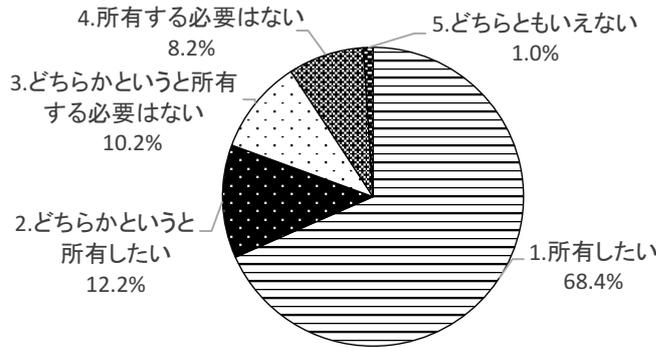
● 実施期間 平成30年11月27日～12月10日

1 住宅について

問1 あなたは、住宅を所有したいと思いますか。現在、住宅を所有している、賃貸に住んでいるかどうかに関わらず、次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 98人

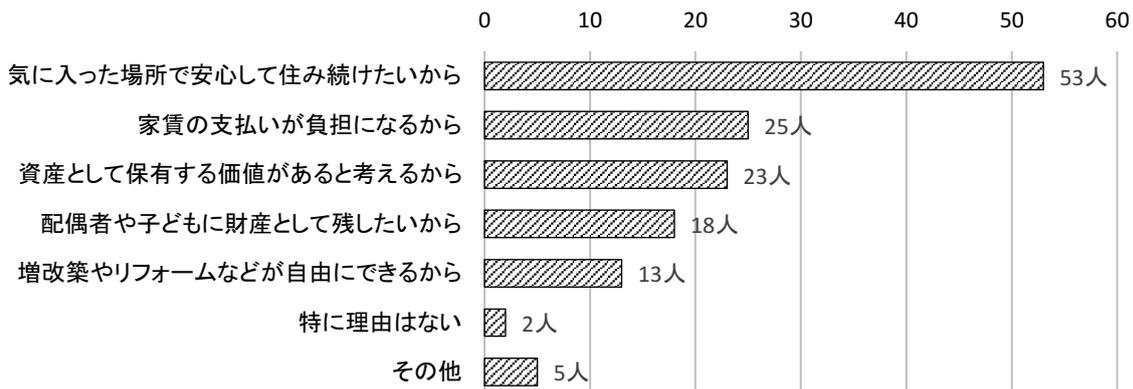
1. 所有したい	67人	68.4%
2. どちらかというど所有したい	12人	12.2%
3. どちらかというど所有する必要はない	10人	10.2%
4. 所有する必要はない	8人	8.2%
5. どちらともいえない	1人	1.0%



問2 問1で「1.所有したい」「2.どちらかというど所有したい」と答えた方に伺います。あなたが、住宅を所有したいと思は、どのような理由からですか。次の中から2つまで選んでください。

回答者数 79人

1. 気に入った場所で安心して住み続けたいから	53人	67.1%
2. 資産として保有する価値があるど考えるから	23人	29.1%
3. 増改築やリフォームなどが自由にできるから	13人	16.5%
4. 配偶者や子どもに財産として残したいから	18人	22.8%
5. 家賃の支払いが負担になるから	25人	31.6%
6. 特に理由はない	2人	2.5%
7. その他	5人	6.3%



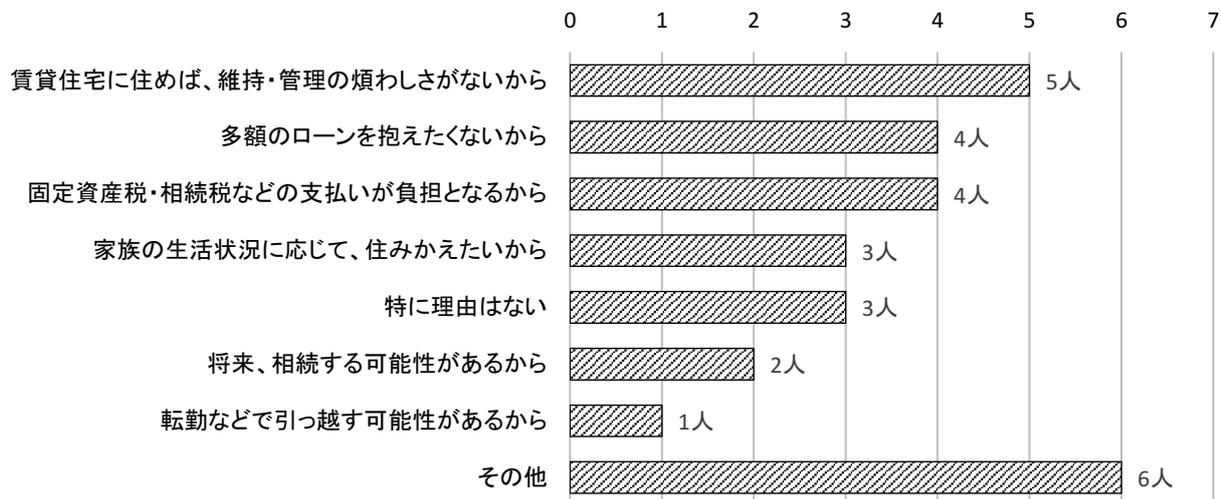
●その他の意見

- ・賃貸だと騒音やトラブルがありそう
- ・生まれ育った場所なので
- ・賃貸は、住みかえができるメリットもあるが、引っ越しが面倒
- ・住宅は、新築だと自分の理想の家が建てられる
- ・集合住宅では生活音が気になる。住宅を所有すれば、自分が出す生活音を気にする必要がない
- ・自分の物という安心感がある

問3 問1で「3.どちらかというとも所有する必要はない」「4.所有する必要はない」と答えた方に伺います。あなたが住宅を所有する必要がないと思うのは、どのような理由からですか。次の中から2つまで選んでください。

回答者数 18人

1. 家族の生活状況に応じて、住みかえたいから	3人	16.7%
2. 賃貸住宅に住めば、維持・管理の煩わしさがいいから	5人	27.8%
3. 多額のローンを抱えたくないから	4人	22.2%
4. 固定資産税・相続税などの支払いが負担となるから	4人	22.2%
5. 将来、相続する可能性があるから	2人	11.1%
6. 転勤などで引っ越し可能性があるから	1人	5.6%
7. 特に理由はない	3人	16.7%
8. その他	6人	33.3%



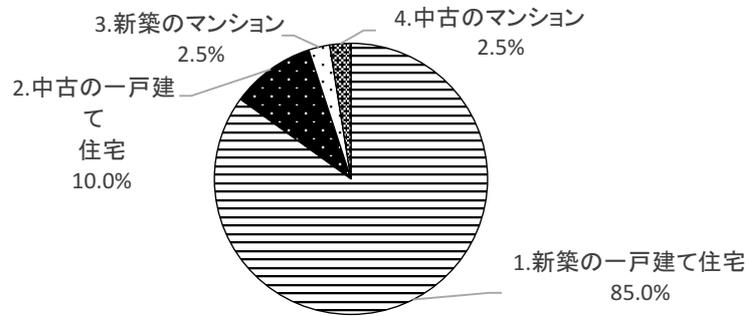
●その他の意見

- ・現在、居住している住宅があるから
- ・すでに耐震性には問題のない住宅に住んでいるため、建てかえる必要性がないから
- ・持ち家だと町内会のつき合いが面倒だから
- ・子どもたちの就職先を自宅があることにより制限したくないから。また結婚後、同居を考えていないから
- ・夫の両親と同居しているが、自分に子どもがいないため、将来を考えると、今の家は処分して高齢者住宅や老人ホームに住むことを考えているから
- ・市営住宅を借りているから

問4 問1で「1.所有したい」「2.どちらかというとならば所有したい」「5.どちらともいえない」と答えた方に伺います。あなたは、住宅を購入するとしたら、どのような住宅が最もよいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 80人

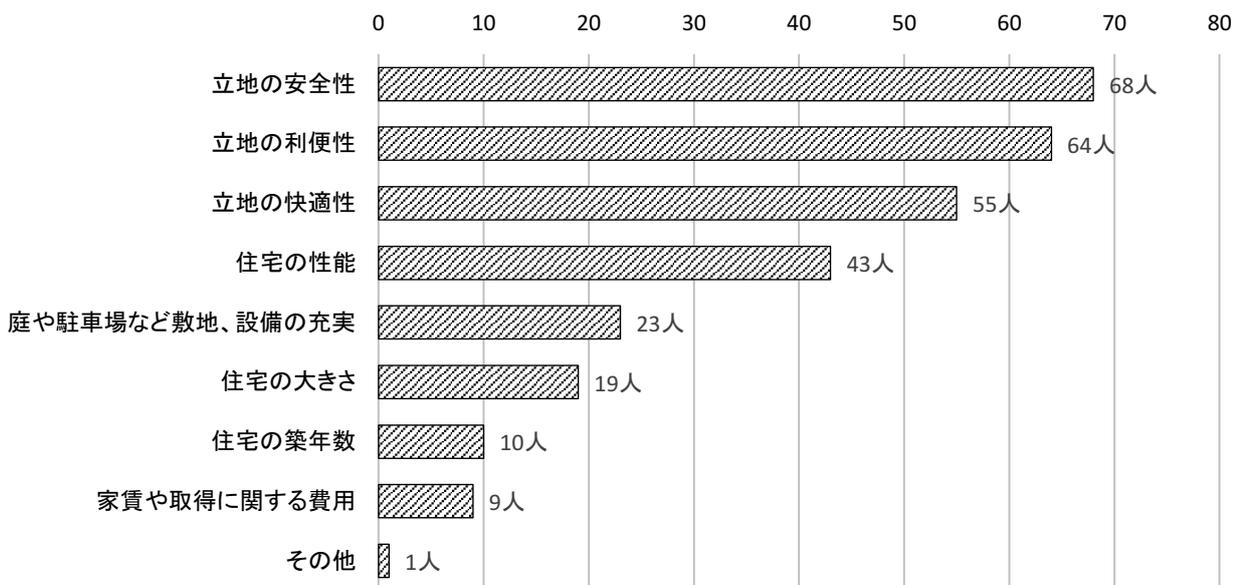
1. 新築の一戸建て住宅(店舗付きのものを含む)	68人	85.0%
2. 中古の一戸建て住宅(店舗付きのものを含む)	8人	10.0%
3. 新築のマンション	2人	2.5%
4. 中古のマンション	2人	2.5%



問5 あなたは、住宅及び住宅の立地、周辺環境に関して、どのようなことを重要視しますか。重要だと思うものを3つまで選んでください。

回答者数 98人

1. 住宅の大きさ	19人	19.4%
2. 住宅の築年数	10人	10.2%
3. 住宅の性能(住宅の耐震性、省エネルギー性など)	43人	43.9%
4. 立地の利便性(通勤・通学に便利、公共施設・医療機関・店が近くにあるなど)	64人	65.3%
5. 立地の安全性(立地する地域の地震や台風など自然災害に対する安全性、犯罪や交通事故などに対する安全性など)	68人	69.4%
6. 立地の快適性(騒音・振動、大気汚染などの少なさ、日当たりや風通し、公園や緑地が近くにあるなど)	55人	56.1%
7. 庭や駐車場など敷地、設備の充実	23人	23.5%
8. 家賃や取得に関する費用	9人	9.2%
9. その他	1人	1.0%



- その他の意見
 - ・見晴らし。富士山や、駿河湾が見えること

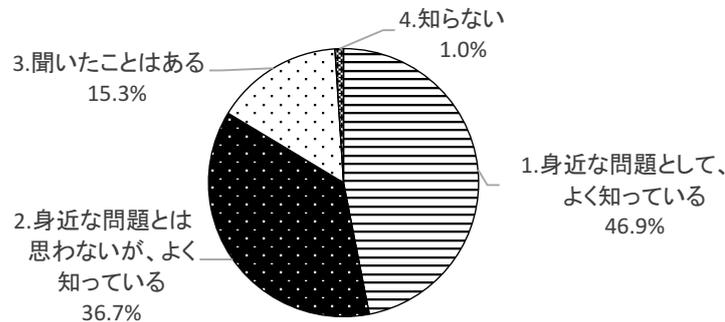
2 空き家等について

※ 空き家等とは建築物又はこれに属する工作物(壁や立木など)であって、居住その他の使用がなされていないことが常態であるもの及びその敷地のことをいいます。

問6 適正な管理が行われていない空き家等が全国的にふえていて、問題となっていることを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 98人

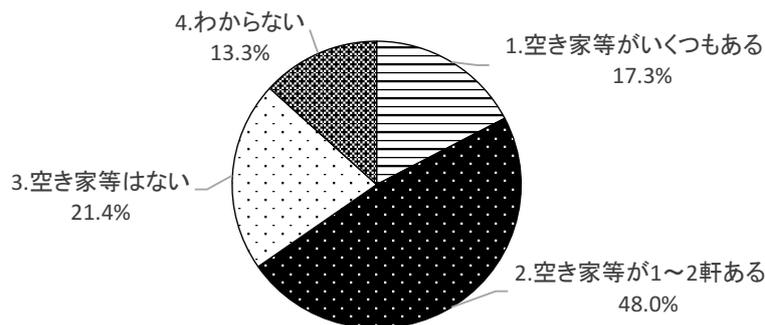
1. 身近な問題として、よく知っている	46人	46.9%
2. 身近な問題とは思わないが、よく知っている	36人	36.7%
3. 聞いたことはある	15人	15.3%
4. 知らない	1人	1.0%



問7 市内やあなたの自宅の周辺には、空き家等が多いと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 98人

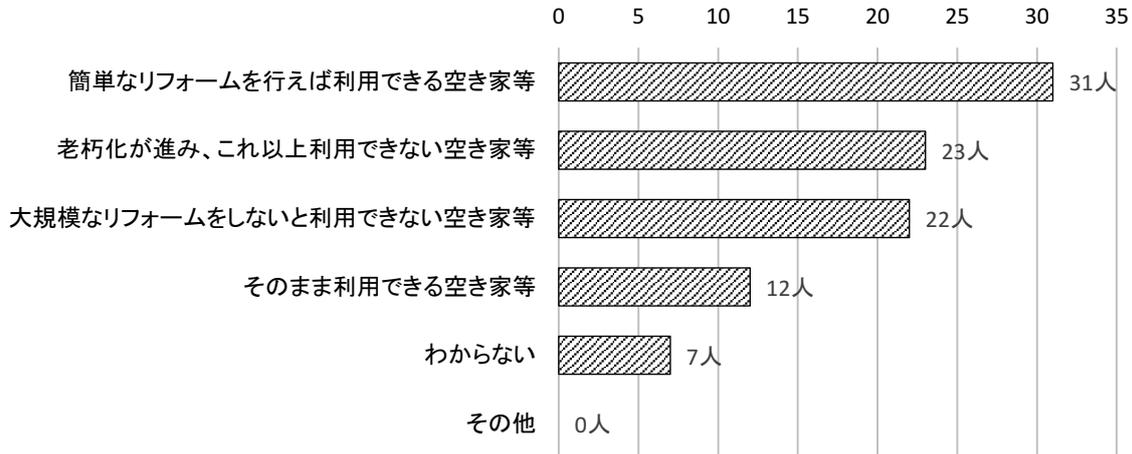
1. 空き家等がいくつもある	17人	17.3%
2. 空き家等が1~2軒ある	47人	48.0%
3. 空き家等はない	21人	21.4%
4. わからない	13人	13.3%



問8 問7で「1.空き家等がいくつもある」「2.空き家等が1～2軒ある」と答えた方に伺います。あなたの自宅の周辺や市内には、どのような空き家等が多いと思いますか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

回答者数 64人

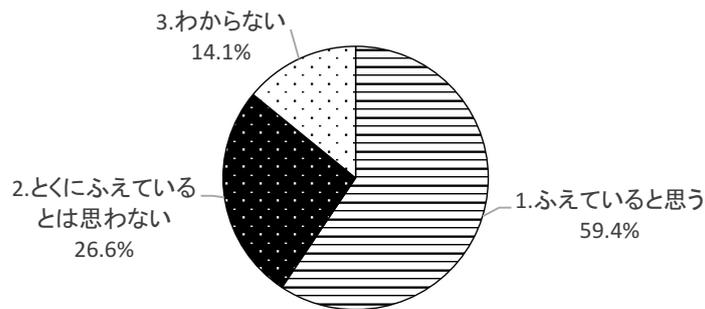
1. そのまま利用できる空き家等	12人	18.8%
2. 簡単なリフォームを行えば利用できる空き家等	31人	48.4%
3. 大規模なリフォームをしないと利用できない空き家等	22人	34.4%
4. 老朽化が進み、これ以上利用できない空き家等	23人	35.9%
5. わからない	7人	10.9%
6. その他	0人	0.0%



問9 問7で「1.空き家等がいくつもある」「2.空き家等が1～2軒ある」と答えた方に伺います。市内やあなたの自宅の周辺で、空き家等がふえていると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 64人

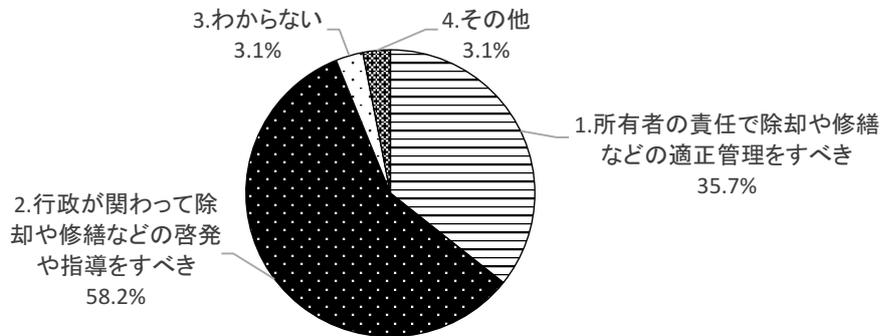
1. ふえていると思う	38人	59.4%
2. とくにふえているとは思わない	17人	26.6%
3. わからない	9人	14.1%



問10 あなたの自宅の周辺に、外部に悪影響を及ぼしている空き家等があると仮定した場合、あなたは、その空き家等の対処として、どのような方法が望ましいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 98人

1. 所有者の責任で除却や修繕などの適正管理をすべき	35人	35.7%
2. 行政が関わって除却や修繕などの啓発や指導をすべき	57人	58.2%
3. わからない	3人	3.1%
4. その他	3人	3.1%



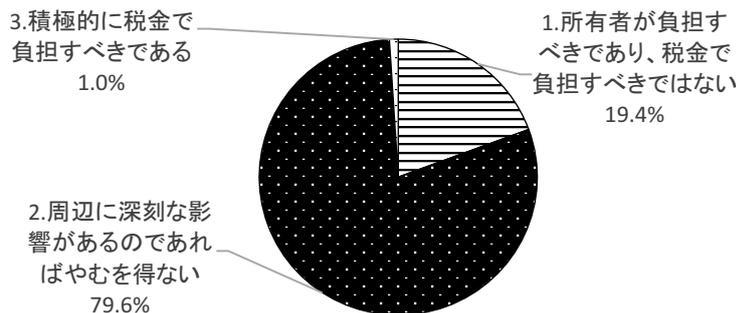
●その他の意見

- 基本は所有者の責任で対応すべきだが、所有者がわからない場合行政が対応すべき
- 本来は所有者責任でよいと思うが、所有者が管理ができない場合は、了解をもらって行政が適切な処置ができるのが望ましい
- 企業が買いとり、リフォームや販売などをする

問11 空き家等の管理は、本来ならば所有者が自らの責任により対応することが前提となりますが、状況によっては問題解決のために税金が使われることについて、あなたはどう思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを、1つだけ選んでください。

回答者数 98人

1. 所有者が負担すべきであり、税金で負担すべきではない	19人	19.4%
2. 周辺に深刻な影響があるのであればやむを得ない	78人	79.6%
3. 積極的に税金で負担すべきである	1人	1.0%

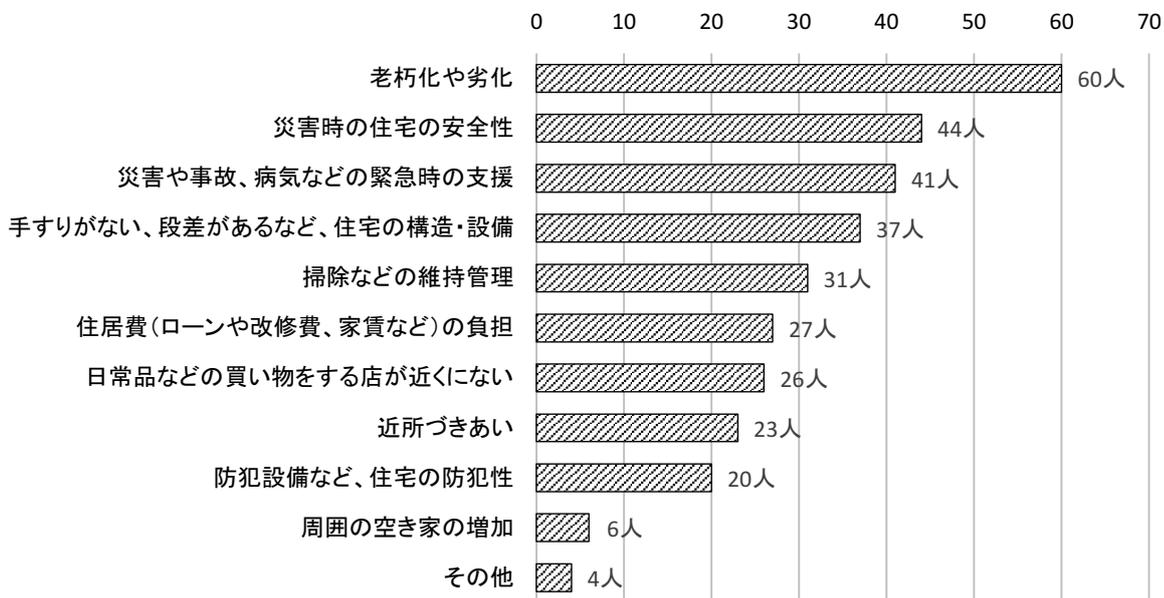


3 高齢期における住まいについて

問12 あなたが高齢者となった時(現在高齢の方を含む)、現在住んでいる住宅や住環境について不安な点がありますか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

回答者数 98人

1. 災害時の住宅の安全性	44人	44.9%
2. 手すりがない、段差があるなど、住宅の構造・設備	37人	37.8%
3. 災害や事故、病気などの緊急時の支援	41人	41.8%
4. 掃除などの維持管理	31人	31.6%
5. 日用品などの買い物をする店が近くにない	26人	26.5%
6. 防犯設備など、住宅の防犯性	20人	20.4%
7. 住居費(ローンや改修費、家賃など)の負担	27人	27.6%
8. 老朽化や劣化	60人	61.2%
9. 近所づきあい	23人	23.5%
10. 周囲の空き家の増加	6人	6.1%
11. その他	4人	4.1%

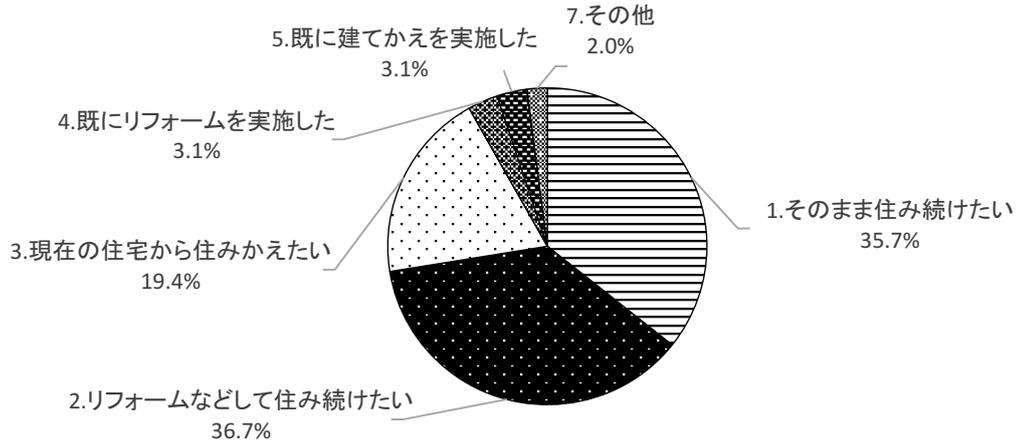


●その他の意見

- ・公共交通機関が少ないこと
- ・防犯灯が少なく、照明も暗いので犯罪防止に役立っていない。また、医療機関が歯科、内科、外科しかなく、医療面で不安がある。他にも、警察機関として、駐在所(男1人・女1人)しかなく防犯面で不安がある
- ・所有している茶畑の今後が不安
- ・回覧板など当番の負担

問13 あなたは、ご自身(現在高齢の方を含む)が、高齢期に安心して居住するために、住宅の住みかえやリフォームを行うことを考えていますか。次の中から1つだけ選んでください。

	回答者数	98人
1. 現在の住宅にそのまま住み続けることを考えている	35人	35.7%
2. 現在の住宅をリフォームなどして住み続けることを考えている	36人	36.7%
3. 現在の住宅から住みかえることを考えている	19人	19.4%
4. 高齢期に住み続けることを前提に、既にリフォームを実施した	3人	3.1%
5. 高齢期に住み続けることを前提に、既に建てかえを実施した	3人	3.1%
6. 高齢期に住み続けることを前提に、既に住みかえを実施した	0人	0.0%
7. その他	2人	2.0%



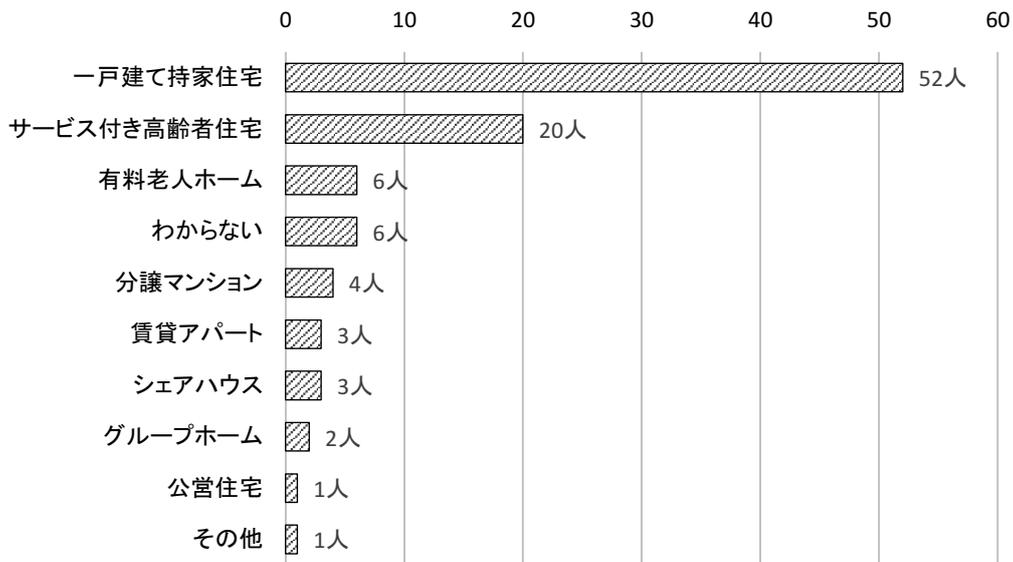
●その他の意見

- ・家族の状況により、介護の必要性なども考慮して、バリアフリーの必要性が認められればリフォームや住みかえも考えるが、現状では判断ができない
- ・リフォームは検討しているが、資金面で不安がある

問14 あなたが高齢者となった時(現在高齢の方を含む)、どのような住居に住みたいですか(既に住みかえ済みの方はどのような住居に住みかえたかをお答えください)。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 98人

1. 一戸建て持家住宅	52人	53.1%
2. サービス付き高齢者住宅	20人	20.4%
3. 有料老人ホーム	6人	6.1%
4. グループホーム	2人	2.0%
5. 分譲マンション	4人	4.1%
6. 賃貸アパート	3人	3.1%
7. シェアハウス	3人	3.1%
8. 公営住宅	1人	1.0%
9. わからない	6人	6.1%
10. その他	1人	1.0%



●その他の意見

・死ぬまで自立した生活を送りたいと思っているが、自立度に応じて住まいの形態は変わると思う

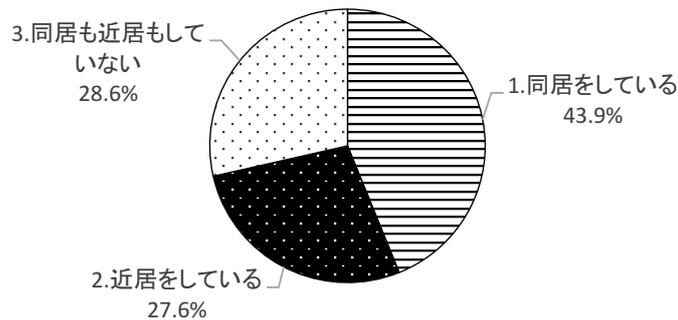
4 多世帯同居・近居について

※ 同居とは親世帯と子世帯が一緒に住んでいる状態のことをいい、近居とは親世帯と子世帯が近い距離に住んでいる状態のことをいいます。

問15 あなたは現在、家族や親族と同居もしくは近居をしていますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 98人

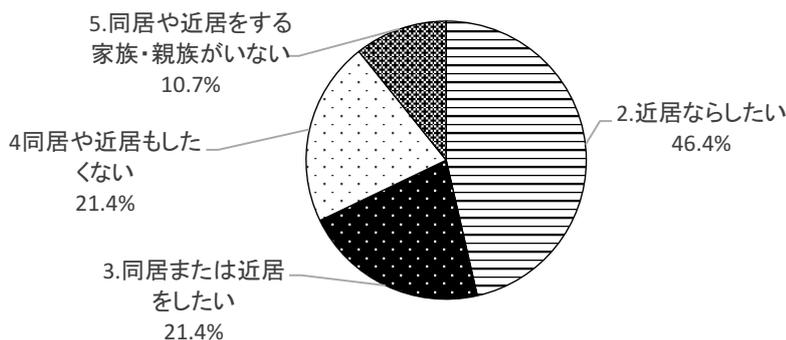
1. 同居をしている	43人	43.9%
2. 近居をしている	27人	27.6%
3. 同居も近居もしていない	28人	28.6%



問16 問15で「3.同居も近居もしていない」と答えた方に伺います。あなたは、今後家族や親族とどのような暮らし方を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。またその理由もお答えください。

回答者数 28人

1. 同居ならしたい	0人	0.0%
2. 近居ならしたい	13人	46.4%
3. 同居または近居をしたい	6人	21.4%
4. 同居や近居もしたくない	6人	21.4%
5. 同居や近居をする家族・親族がいない	3人	10.7%



●2の理由

- ・同居は大変だから
- ・将来のことを考えると、近くに住むほうが安心して過ごせるから
- ・お互い助けが必要ときに助け合えるほどよい距離だから
- ・家族が近いと安心できるから
- ・子どもが家でひとりになる時間をなくしたいから
- ・同居はハードルが高いが、近居ならできそうだから
- ・何かの際、安心できるから
- ・お互いに助け合えるから
- ・いざという時に親族が近くにいれば心強いから。また同居は難しいと感じているので同居は望まない
- ・同居は自分の娘でも気を遣うため、スープの冷めない距離(徒歩で15分以内)に住み、お互いの安否を確かめ合っているくらいがちょうどよいと思うから
- ・不測の事態に備えて
- ・同居をすると、いろんな問題が出るかもしれないから

●3の理由

- ・近くで生活してくれたほうが何かと安心だから
- ・老後が安心だから
- ・頼れる人が近くにいない状況にあるため
- ・自立して生活ができなくなったとき、配偶者が亡くなったときにはそうしたい
- ・同居して、お互い支え合って暮らしたいが、生活リズムが違うため、仲よくやっていくために近居で距離を保ちたい。互いの考えが合えば同居でもよい

●4の理由

- ・両親とは相性がよくないから
- ・一緒に住もうと考えたことはあるが、うまくいかなそうだったから
- ・子どもたちはおのおの配偶者の仕事上の都合で遠方に住居を構えているので、近居・同居は将来的に難しいと考えている

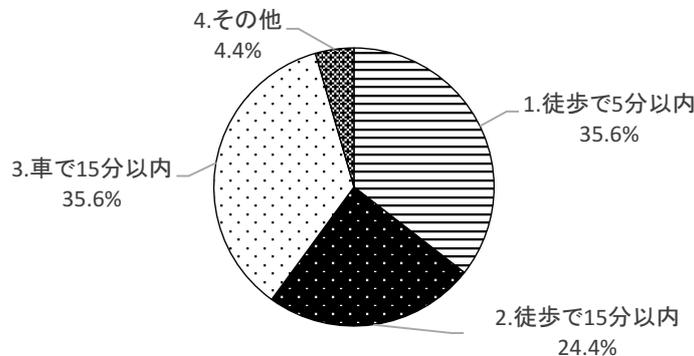
●5の理由

- ・夫婦2人とも実家が遠方にあり、それぞれに仕事を持っているから
- ・親族などは遠くに住んでいるから

問17 問15で「2.近居をしている」または問16で「2.近居ならしたい」「3.同居または近居をしたい」と答えた方に伺います。あなたは、近居をするにあたり、どのくらいの距離が適当だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 45人
(無回答 1人)

1. 徒歩で5分以内	16人	35.6%
2. 徒歩で15分以内	11人	24.4%
3. 車で15分以内	16人	35.6%
4. その他	2人	4.4%



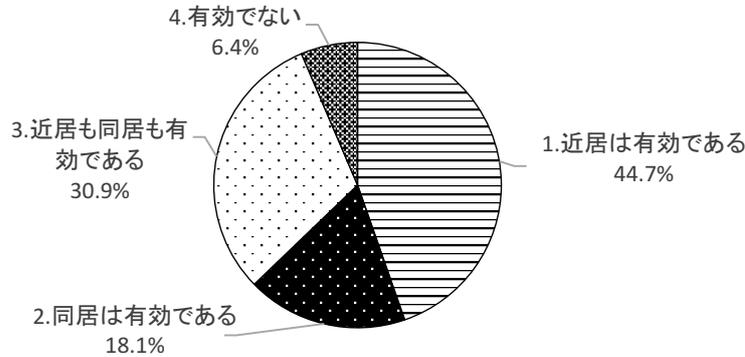
●その他の意見

- ・車で1時間程度であれば近居の感覚
- ・車で30分くらい

問18 あなたは、家族や親族と暮らすのに近居・同居は有効であると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 94人
(無回答 4人)

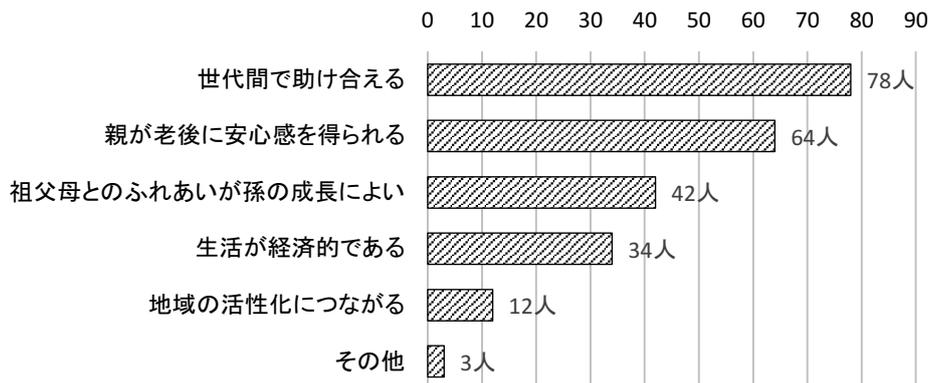
1. 近居は有効である	42人	44.7%
2. 同居は有効である	17人	18.1%
3. 近居も同居も有効である	29人	30.9%
4. 有効でない	6人	6.4%



問19 問18で「1.近居は有効である」「2.同居は有効である」「3.近居も同居も有効である」と答えた方に伺います。あなたが、近居・同居を有効であると考え理由はどのようなことですか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

回答者数 88人

1. 世代間で助け合える	78人	88.6%
2. 祖父母とのふれあいが孫の成長によい	42人	47.7%
3. 親が老後に安心感を得られる	64人	72.7%
4. 生活が経済的である	34人	38.6%
5. 地域の活性化につながる	12人	13.6%
6. その他	3人	3.4%



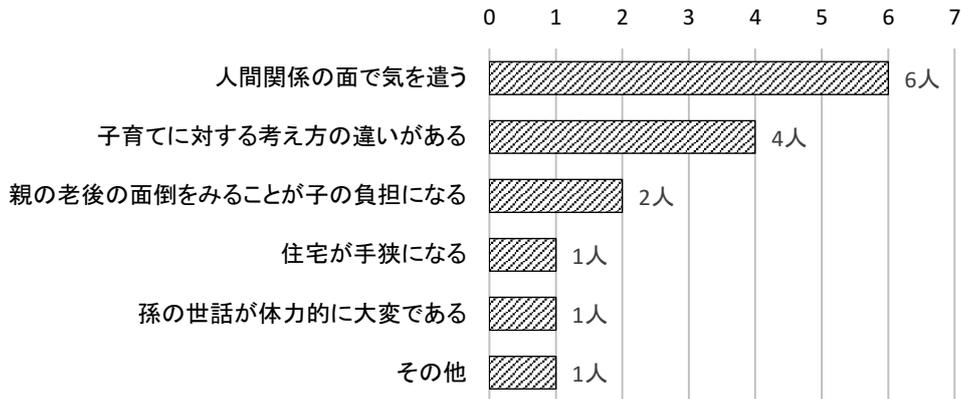
●その他の意見

- ・経済的な不安があり、親子2世代で何とか同居の生活をしなければならない
- ・親も子も安心感が得られる
- ・面倒を見てもらえる

問20 問18で「4.有効でない」と答えた方に伺います。あなたが、近居・同居を有効でないと考える理由はどのようなことですか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

回答者数 6人

1. 人間関係の面で気を遣う	6人	100.0%
2. 子育てに対する考え方の違いがある	4人	66.7%
3. 住宅が手狭になる	1人	16.7%
4. 孫の世話が体力的に大変である	1人	16.7%
5. 親の老後の面倒をみるのが子の負担になる	2人	33.3%
6. その他	1人	16.7%



●その他の意見

- ・世代が違い、考え方や感じ方も異なるので難しい面がある